



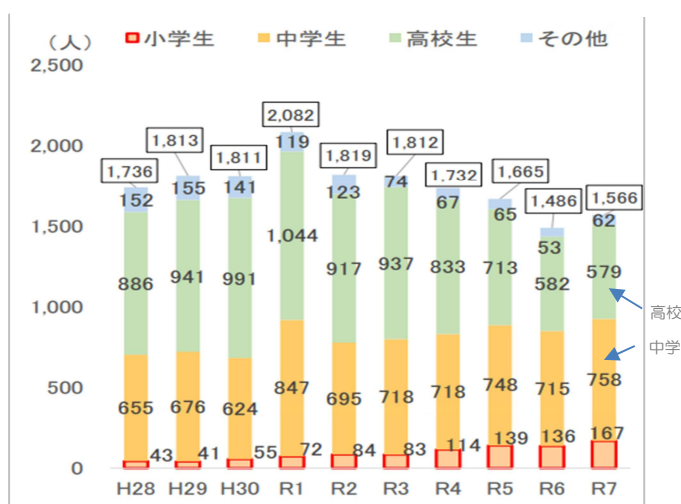
子どもの未来を守るために！！



お子さんが SNS やインターネットでやり取りしている相手のこと、すべて把握できていますか？ SNS だけでなく、オンラインゲームから知らない人とつながるケースが増えています。画面の向こうで一緒に戦ってくれるあの人は、お子さんにとって、もう『知らない人』ではないかもしれません。だからこそ、周りの大人が見守る必要があるんです。

SNS やオンラインゲームで犯罪に巻き込まれる子どもが増加！！

SNS に起因する被害児童生徒数の推移（警察庁より）



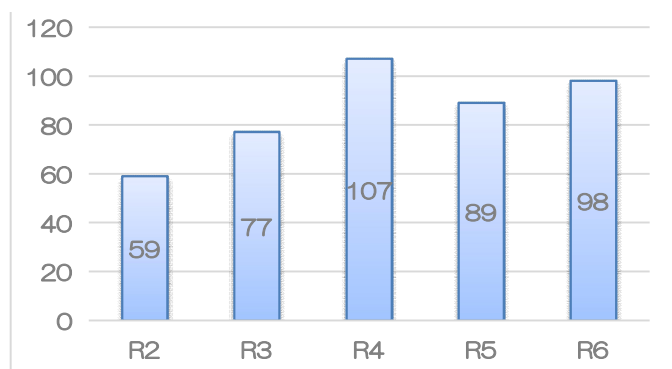
昨年 1 年間に SNS をきっかけとして、事件に巻き込まれた 18 歳未満の子どもは 1,566 人で、その8割以上を中高生が占めています。

小学生は 167 人で前年より2割増え、過去最多となっています。被害を受けた小学生のうち11歳が最も多い結果でした。

子どもが相手と知り合うきっかけとなった、SNS はInstagramが最多で、X（旧ツイッター）やTikTok、オンラインゲームでも被害にあっています。

オンラインゲームは「ボイスチャット」や「メッセージ交換」など匿名で不特定の人と簡単にやり取りができる機能が備わっており、その機能が悪用され、犯罪に巻き込まれるきっかけになっています。親子でのルール作りや子どもの発達段階に応じた利用制限など、ペアレンタルコントロール機能の活用が重要です。

オンラインゲームに起因する被害児童数の推移（警察庁より）



SNS やオンラインゲームにおける児童生徒のトラブルや被害は住んでいる地域（都会・地方）に関わらず発生しています。これらは、決して他人事ではなく、「いつ、どのお子さんにも起こり得る」非常に身近な問題です。

《大切なのは禁止ではなく対話》

ゲームやインターネットを完全に禁止することは、現代の子どもにとって現実的ではありません。だからこそ、「どんな人と、どんな話をしてるの？」「今日のゲームはどうだった？」と普段からオープンに話し合える雰囲気作りが大切です。子どもがトラブルに巻き込まれそうになった時、一番に「助けて」と言える場所が家庭であるために。

お子さんが楽しんでいるゲームの世界について少し耳を傾けてみませんか。



その行為 犯罪です！！



我が子が「加害者」に？ “ちょっとした悪ふざけ” に潜む犯罪のリスク！！

お子さんのスマートフォンの使い方、気になることはありませんか？今の小中学生は生まれた時からインターネットがある【デジタルネイティブ】世代です。操作に非常に慣れていますが、その一方で「みんながやってるから」「ウケ狙いで」という軽いノリで、重大な犯罪（加害行為）につながるケースが全国で後を絶ちません。

インターネットの世界では、「知らなかった」「冗談のつもりだった」では済まされない現実があります。



インターネットに潜む「4つの加害リスク」



文字による暴言



SNS等で他人を傷つける書き込みをすること

プライバシー侵害



個人情報を無断で公開し、プライバシーを侵害すること

デマや噂話の拡散



真実と異なる情報を広めてしまうこと

デジタルタトゥー



ネット上に投稿した内容は削除しても残り続け、将来に影響する可能性があること

※このイラストはAIを使用して生成しました



家庭でできる「2つの見守りアクション」



- 物理的なルールを作る（スマホはリビングで）
 - ・自室に端末を持ち込ませず、保護者の目が届くリビングでのみ使用させる
 - ・夜間の利用時間を制限し、深夜のトラブルや睡眠不足を防ぐ
- フィルタリングと機能制限の徹底
 - ・アプリのダウンロードや課金、有害サイトへのアクセスを制限する「ペアレンタルコントロール」を必ず設定する



SNS等のトラブルを防ぐため、投稿前に一瞬立ち止まり「これ、全校生徒の前でマイクで言えるか」「これ、親に堂々と見せられるか」をお子さんに問いかけてください。もし、少しでも「言えない」「見せられない」と躊躇するなら、その書き込みは絶対にやってはいけないことです。

生成AI（人工知能）

生成AIは便利ですが、小中学生の利用には「個人情報の流出」「嘘の情報を信じ込む」「思考力の低下」などのリスクがあります。利用時は規約を守り、必ず親子でルールを決めて一緒に使しましょう。

保護者の皆さんの理解と注意がお子さんを守ります！

【発行】 滝川市教育委員会社会教育課

TEL：28-8046

